

キャラクター名  
鯨井正規(くじらい まさき)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	モルフェウス			年齢		17
オプション	覚醒	探求	衝動	飢餓	初期侵食率	42 %
出自	天涯孤独	経験	殺傷	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	55
肉体	3	1	3			7	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ガードメモ		0	6			HPダメージ-10
[アウエイクボンバー]コンボ+インスタントボム	白兵	8r				C値7 攻撃力+8 装甲無視 侵食値3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
マグネットコーティング×3					ガード値+4/身体に電磁防御壁を作る装置を埋め込んで
					合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
機械化兵(フルボーグ)	P	N		
三ツ谷兼彦	P 好奇心	N 食傷		
二才	P 懐旧	N 不信感		
山茶 幸矢	P 連帯感	N 無関心		
彼岸帷	P 連帯感	N 無関心		
大墨允	P 尊敬	N 脅威		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 黒犬専用アイテムLv個常備/侵食値常備+4								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリング1メイン中1回、行動済みにならない								
メタルフュージョン	4	4	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: HP[(Lv+2)D+感覚]回復/1シーンに1回								
ペインエディター	4	-	常時	-	自身	自動	-	
効果: 基本HP+Lv×5/侵食率基本値+3								
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: [Lv×10] mカバーリング/砂の結界使用前に宣言/シーン1回/								
インスタントボム	4	3	メジャー	至近	対決	自動	-	
効果: [攻撃力+ [Lv×2]] 装甲無視								
ライトカスタム	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 肉体【感覚】判定D+1,基本侵食値+2								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	-	-	-	-	-	
効果: C値-LV(下限値7)								
電子使い	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 電子機器なしで電磁記録媒体の情報を読み取ったり、書き込むことができる。								
壁抜け	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 密室・閉鎖空間・壁でもなんでも通り抜け								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ごくごく一般的な高校生。しかし、鯨井正規は正義のために戦う改造人間だったのだ！(初代仮●ライダー風)  
 趣味特技が人体改造で、体の大半がサイボーグ化している。  
 食べることには執着があるため、必要はないが経口栄養摂取ができる。  
 UGNに自身を観察対象として研究に協力している。  
 定期的な観察と監視付きという条件ではあるが、現在は自身の家で使用人と暮らしている。  
 鯨井に身寄りがないのは、唯一の肉親であった父親を自分のレネゲイドによって殺しているからである。  
 レネゲイド自体は6歳のときに発症していた。  
 制御の仕方がわからなかったため、小学生のときに父親の手を握ろうとして感電死させた。  
 幸い、父親が資産家であり、ほそぼそと暮らしていくには十分すぎるほどの金と家があったため、  
 少人数の信頼できる使用人だけそのまま雇い続けて一緒に暮らしている。  
 自身の肉体を改造し続けるのには、力を制御したいという思いと自己否定からきている面もあるようだ。